

**学校名** 熊谷市立荒川中学校  
**所在地** 熊谷市月見町2-174  
**電話** 048-521-0213

## 1 本校の概要

本校は埼玉県の北部に位置し、南に荒川とその土手、東に老舗デパート八木橋やイオン熊谷などの商業施設があり、自然的にも文化的にも恵まれた地域にある。「わたしが誇るまち 熊谷に学ぶ 日本一の中学生」の学校教育目標の下、生徒が日々「すすんで学び、磨き、鍛え」ている。親子3代で荒川中学校卒業生、という家庭も少なくなく、学校に対して協力的で、地域ぐるみで生徒を育てようとする風土もあり、生徒も素直で穏やかである。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

### (2) 実践の概要

「学校生活の始まりは静寂の中での朝読書」がしっかりと定着し、落ち着いた雰囲気です。1日がスタートしている。生徒はそれぞれに読みたい本を準備し、読書の世界に浸っている。また休み時間に読書する姿も見られ、朝読書をきっかけとした読書習慣が身につけている生徒も多い。そこで、さらに良書に触れる機会を増やすために、①学級文庫の充実と活用 ②図書委員による図書紹介を今年度の重点課題とした。

#### ア 静寂の中での朝読書から始まる学校生活

本校では、朝読書の時間帯に朝会を行わないため、文字どおり毎朝、「静寂の中での朝読書」が進められている。



学級文庫は図書館補助員たちが各教室に1セット整備し、月に1度の図書委員会で点検し、交換を行っている。

今年度は国語の授業で行ったビブリオバトルのチャンプ本を購入し、紹介するなど、毎年蔵書を加えて、生徒の関心を高めている。



### イ 生徒の立案による図書集会の実施

本校では月1のペースで生徒会集会を行っている。各委員会が取り組んでいる活動について報告や提案を発表している。



図書委員会は、図書委員それぞれのおすすめ本の紹介と、本の読み聞かせを行った。ヨシタケシンスケさんの『メメンとモリ』を、図書委員全員でつない



で読み聞かせをし、ビデオを作成した。各教室でリモート視聴し、生徒たちはよく見て、聴いていた。

後期は、図書室にある本の紹介を行う予定である。これらの活動をきっかけに学級文庫や図書室の利用が活発になることを期待している。

## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

- ・ 「静寂の中での朝読書」が当たり前のこととして定着している。
- ・ 学級文庫や図書室の利用が活発になってきた。

### (2) 課題

- ・ 4月の入学・進級時に「静寂の中での朝読書」が定着するように、全教員で指導し、徹底させる。
- ・ 学級文庫の本を手にする生徒が少ないので、手作りポップの作成・掲示や放送による図書紹介などを図書委員で企画していく。また新着図書を紹介を昇降口に掲示し、図書室利用を促す。

### (3) おわりに

読書をすることは、自分自身では体験し得ないであろう様々な人生を疑似体験できる貴重なものである。これから自分の人生を切り拓けていく生徒たちには、読書を通じて得た豊かな知識を生かして、人生の選択や判断をする糧としてほしいと考える。そのために多くの良書との出会いの機会を提供していきたい。